

いわき湯本病院

総務課／國井 智幸（副主任）

功 績 地域共生を目的とした当院の取り組みにおいて、年間24回のイベント開催・参加を計画し、責任者として遂行した。納涼祭や市民講座、地域イベント参加、買い物支援など多彩な活動を通じ、地域住民とのつながりを深め、ご利用者の笑顔や信頼を引き出した。特に医療創生大学とのコラボによる買い物支援では、これまで当院を利用したことのない住民の受診につながり、外来患者数の増加という成果も生み出した。地域共生と病院経営の両面に貢献し、当院の理念を体現した功績。

推 薦 者 （ MaD ／ 中村 真規 ）

推 薦 理 由 地域貢献プロジェクト委員会の責任者として、イベント計画から運営、地域との連携に至るまで主体的に取り組み、委員会メンバーの意識向上と地域住民とのつながり強化に大きく貢献しました。特に、買い物支援活動ではご利用者の笑顔を引き出し、新規受診にもつながる成果を上げています。地域共生の推進に欠かせない存在であり、職員の模範となることから、今回推薦いたします。

内 容

地域貢献プロジェクト委員会の責任者として、年間24回のイベント開催・参加を計画し、委員会メンバーを取りまとめながら一つ一つの取り組みを確実に実行してきました。納涼祭では地域住民や患者さん、ご家族との交流を深め、医療従事者向け講座や市民講座では専門知識の普及と健康意識の向上に貢献しました。また、ハイキングイベントや体験ブース、地域の祭り参加などでは、地域住民との直接的なふれあいを通じて病院を身近に感じてもらえるよう取り組んでおり、病院の存在意義を地域に広く伝えることができました。

さらに、特筆すべきは大学と連携した「買い物支援」活動です。地域の高齢者が日常生活の中で抱える課題を解決するために積極的に参加し、利用者との自然な会話や交流の中で笑顔を引き出し、信頼関係を築きました。その結果、これまで当院を利用したことなかった住民が新たに受診につながるなど、地域貢献活動が病院利用へと結実し、外来患者数の増加にも貢献しました。

また、計画立案や準備にとどまらず、委員会メンバー一人ひとりに役割を示し、主体的に動けるようサポートしてきました。メンバーからは「頼りになる」「地域貢献活動にやりがいを感じるようになった」との声が寄せられ、組織の活性化や職員の意識向上にもつながっています。地域とコラボレーションする企画では、地元関係者との打ち合わせにも参加し、地域とのつながりをさらに強固にしました。

このように、地域共生を推進する当院において、企画立案から実行、地域連携の強化まで多面的に貢献し、今後ますます重要となる地域との共生・協働の実現に欠かせない存在となっています。その責任感と行動力は職員の模範であり、理事賞にふさわしい人物として推薦いたします。